

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 4年 6月 22日

アンケート期間：令和4年5月16日～令和4年5月31日

事業所名 PARK

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%	0%	0%	0%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	60%	0%	10%	30%		入口の階段に手すりを設置しています。また、昇降の際には手すりにつかまるよう、声かけを行い、1人ずつ昇降するよう心がけ、児童が降りる前にスタッフ1名更に階段の下にスタッフを配置する2名体制で安全面に配慮を行っております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	30%	20%	50%	外活動などまだ見たことがない/自分の都合のいい話ですが、長期休暇の時など兄弟で利用できたらいいと思います。	機会として設けてはいませんが、外出レクでは公園に出掛けたり、地域の店舗を利用することで様々な子どもとの関わりを行っています。また、ご兄弟での利用は制度的な点から難しいものの、普通級に通うごきょうだいに参加できるイベントも今後企画していきたいと考えております。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10%	30%	30%	30%		現在コロナ禍ということもあり開催を見合わせておりますが落ち着いてきた時期を見計らい開催を計画しています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60%	10%	0%	30%		苦情についての対応は管理者が窓口となり、迅速かつ適切な対応を心がけています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	60%	10%	20%	10%		現在は、月初に活動予定表を配布しております。今後、写真などを交えた日々の過ごしの様子をおたよりやInstagram等を利用して発信していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	90%	0%	0%	10%		個人情報保護マニュアルに則り取り扱いには十分注意をし配布物や持ち物の管理は職員間でルールを設け入れ間違いや忘れ物のないよう努めています。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	80%	20%	0%	0%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	60%	20%	10%	10%		毎年5月と11月に利用者も交えた避難訓練を行っています。実施曜日に配慮し、なるべく多くの利用者が参加できるよう、工夫していきます。また、その様子についておたよりなどに載せ、参加できなかった利用者についても共有できる環境を整えていきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	90%	10%	0%	0%		
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		

※ i

放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年 6月 22日

事業所名 PARK

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	集団指導室・個別指導室を活動毎に分けて使用し、安全に配慮して支援しています。	
	2	職員の配置数は適切である	50%	50%	配置基準に準じた職員数を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	入り口の階段に手すりを設置する・トイレに踏み台を設置するなど配慮を行っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	50%	50%		課題を抽出し、改善に向けて全職員での振り返りを定期的に行い共有します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75%	25%		今後も実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25%	75%		今後も実施していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	75%		令和4年度実施予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	各種マニュアルの周知や、障害特性や支援内容についての研修を行い、資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	ご利用希望の際は、保護者とのお話の時間をしっかりと設けさせていただき、課題の抽出やニーズの把握を行います。その後、お子さまの過ごし様子から、支援計画へと反映させています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	25%	75%		今後、検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月後半に直接支援に入っている職員間で提案したものを、児童発達支援管理責任者が調整し、反映させています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	25%	お子さまの様子や月ごとの特徴を捉え、毎月テーマを決めた上でプログラムを設定しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	個別課題・集団活動などを組み合わせ、その日や曜日ごとにタイムスケジュールを設定して取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	お子さまの課題に合わせて個別課題や集団活動を通した支援方針を検討し、個別支援計画に反映させています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	前日や直近のお子さまの様子や課題への取り組み状況の共有も行き、その日の支援につなげています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	50%		翌日の打ち合わせにて振り返りを行っていますが、緊急性のある事柄に関しては、送迎終了後に時間を設け、適宜打ち合わせを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		直接支援に入る職員が担当児童の支援記録を記入し、児童発達支援管理責任者が確認を行うことで、支援の助言を行い、支援の質の向上に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	75%	25%	少なくとも6か月に1回のモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	1人1人の支援計画に沿って、様々な活動を取り入れた支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50%	50%		現在、コロナ禍のため、担当者会議は実施されておりませんが、今後参加する際には、児童発達支援管理責任者等お子さまの状況に精通した職員が参加します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	保護者を通じて月ごとのおたよりにて下校時刻や行事について共有しております。また、送迎時に担任の先生とお話させていただいたり、通知票等をコピーさせていただくことで課題や支援方法の共有に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%		現在、該当するお子さまは在籍していませんが、てんかん発作など急変が想定されるお子さまに関しては、連絡体制の確認を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	25%	75%		保護者からの聞き取りにて情報共有を行っています。必要であれば、都度、関係機関に情報提供を依頼します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	25%	75%		在籍児童の卒業時には他関係機関、障害福祉サービス事業所への「支援移行会議」を積極的に働きかけ支援内容のスムーズな移行を心がけたいと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25%	75%		今後、研修へ参加できるよう、体制を整えていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%		外出レクでは公園に出かけていき、地域のお子さまと一緒に利用しております。今後、ごきょうだい参加型のイベントを企画したいと考えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	25%	75%		今後、参加を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡帳を通して日々の過ごしの様子についてお伝えし、共有を行っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75%	25%		ペアレント・トレーニングは実施できていませんが、PARKで行っている支援方法についてご家庭でも実践できるものについての共有をさせていただいております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時にご説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	定期的に保護者面談を実施しております。それ以外にも気になることがあれば随時面談を設けたり、お電話にてお話をさせていただいております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		現在コロナ禍ということもあり開催を見合わせておりますが落ち着いてきた時期を見計らい開催を計画しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	管理者が受付窓口となり、迅速かつ適切に対応するよう心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		現在、月初に活動予定表を配布しています。今後、過ぎの様子の写真を入れたおたよりの作成に取り組んでいきたいと考えています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報保護マニュアルに則り、適切に対応しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚表示を使用するなど、お子さま1人1人に合わせた意思の疎通を心がけ、送迎時に保護者へ情報共有を行うなどの配慮を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍の状況を鑑みて検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	25%		職員に対しては各対応時の捉え方、考え方、動き方を目的とした研修を実施しています。保護者への周知方法について、今後検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		毎年5月と11月にお子さまと職員が参加する形での避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	50%	50%		虐待防止マニュアルや自己チェックシートを基に、研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50%	50%		現在、該当するお子さまはいませんが、やむを得ず身体拘束を行う緊急性、必要性が生じた場合、マニュアルに沿って（記録を含め）適切に対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%		現在、除去の必要な程度のアレルギーのあるお子さまは在籍していませんが、保護者と確認をしながらおやつに提供するものを調整しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	50%	50%		ヒヤリハット事例集を作成するだけでなく、事例があった際にはその都度ミーティングを行い、情報共有・再発防止に努めていきます。